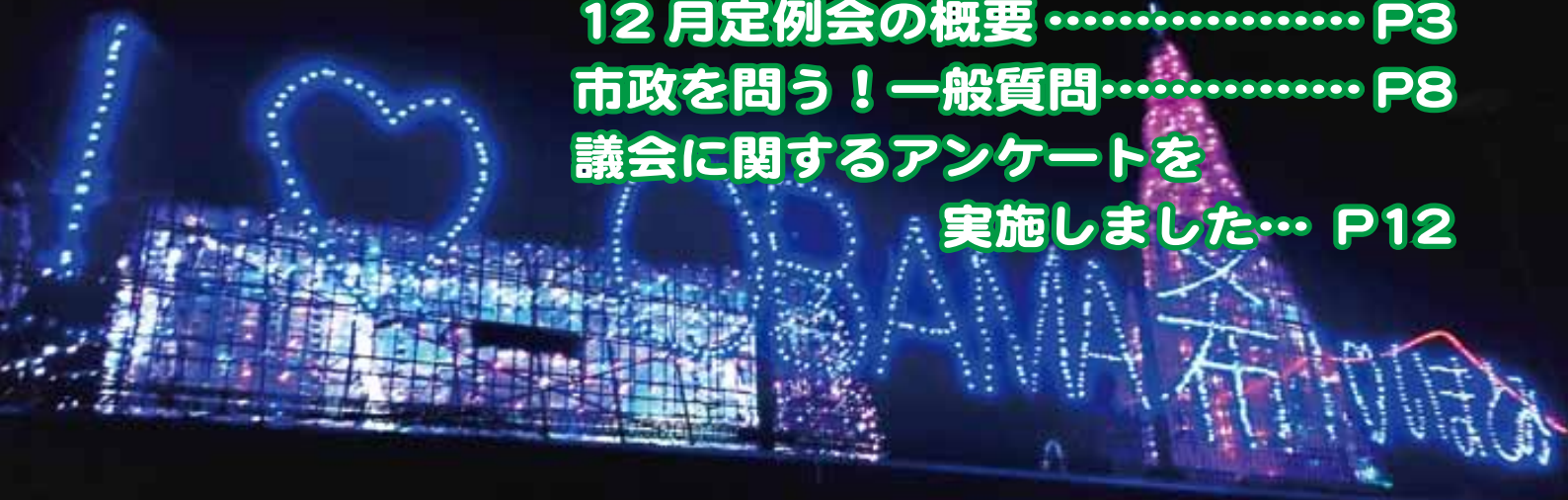


# おばま 市議会だより

No. **154**



議会報告会を開催しました…………… P2  
12月定例会の概要…………… P3  
市政を問う！一般質問…………… P8  
議会に関するアンケートを  
実施しました… P12





# 議会報告会を開催しました

平成29年11月14日(火)、11月17日(金)、11月21日(火)の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。議会定例会と統一テーマ(地域包括センターについて)を報告した後、意見交換を行い、幅広い分野の貴重なご意見を数多くいただきました。

## ○議会報告会とは

小浜市議会基本条例(平成25年4月1日施行)により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会活動に反映させることとされています。

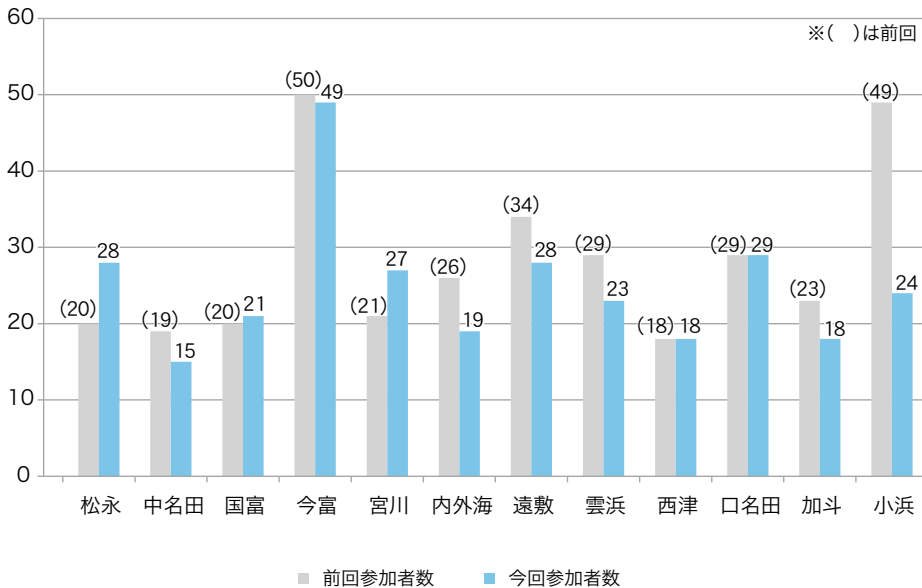
いただいたご意見は、議会報告会連絡会(議長・副議長・各常任委員長・広報委員長・各班主任構成)において整理し、必要に応じ全議員による政策討論会での自由討議を経て、議会の政策立案や理事者へ提言します。

またその他のご意見は理事者に回答を求め、議会報告会報告書(実施報告書・アンケート結果・自由記述欄)としてまとめまして、後日各地区公民館にお届けすると共に小浜市議会のホームページに掲載いたします。ぜひご覧ください。

## ○今回の各会場での参加者数

合計298名の方に  
お越しいただきました。  
前回と比べると40名  
減りましたが、各地区で  
有益な意見交換ができて  
ました。  
これから多くの市

民の方が気楽に来られ、  
自由に意見が交わされる  
場になりたいと思ってお  
ります。特に若い方や女  
性の方の参加率が低い  
ので、ぜひ一度ご参加  
ください。また、そのた  
めの方策についてもお  
知恵をお貸しくください。  
よろしくお願いいたし  
ます。



遠敷公民館



西津公民館



加斗公民館



雲浜公民館



口名田公民館



小浜公民館



松永公民館



国富公民館



宮川公民館



中名田公民館



今富公民館



内外海公民館

# 12月定例会の概要

平成29年12月定例会  
が11月30日から12月21  
日まで22日間の会期で  
行われました。

今定例会では、平成29  
年度小浜市一般会計補  
正予算の専決処分の報  
告、平成29年度小浜市一  
般会計と事業特別会計、  
条例の一部改正、指定管  
理者の指定、陳情等の議  
案等を慎重に審議しま  
した。

また、最終日には今井

伸治議員の副議長辞職  
に伴い副議長選挙が行  
われ、小澤長純議員が当  
選し、第57代副議長に就  
任しました。また、委員  
会の構成が変更されま  
した。

議案等は5ページの  
平成29年第5回定例会  
採決結果を、審査の主な  
内容については6ペー  
ジの委員会審査をご参  
照下さい。

## 新副議長のご紹介



第57代  
小浜市議会 副議長  
おざわ ながすみ  
小澤 長純 議員  
(63歳・中井)

### 委員の交代

■ 予算決算常任委員会 委員長

小澤長純議員↓今井伸治議員

### 【可決した平成29年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	175億7,752万円	5億3,540万円	181億1,293万円
特別会計	99億7,114万円	1,688万円	99億8,803万円
企業会計	8億9,588万円	784万円	9億0,372万円
計	284億4,455万円	5億6,013万円	290億0,468万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

# 12月定例会で可決した意見書

## ●原子力防災対策のさらなる充実と原子力発電所の安全・安心の確保を求める意見書

(前文省略)

次の事項について対策を講じるよう要望する。

記

- 1 原子力災害発生時において、実効性ある対策が速やかに講じられるよう、定期的な広域避難訓練などを通じて、広域避難計画の継続的な検証を図ること。また、国・県が協力し、確実な住民避難のための道路整備を図ること。
- 2 使用済燃料の中間貯蔵、高レベル放射性廃棄物の最終処分については、原子力政策を進める上で最重要課題であり、一元的責任を有する国が積極的に対処すること。中間貯蔵施設については、事業者との連携を密にし、県外立地計画を着実に進めること。
- 3 国のエネルギー政策に、長年寄与してきた嶺南地域が持続的に維持・発展できるよう、雇用、生業の安定・向上を図る施策や地域資源の磨き上げを後押しする新たな地域振興対策制度の創設など、国が責任を持って地域振興策を講じること。

## ●道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の嵩上げ措置継続を求める意見書

今後も迅速かつ着実な道路整備により地方創生が推進され、地域の活性が図れるよう、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置については、現行制度を平成30年度以降も継続することを強く求める。

(一部抜粋)

### 寄附行為の禁止

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答札のため)の自筆を除く)

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いします。

### ● ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

検索



# 平成 29 年第 5 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成 29 年度小浜市一般会計補正予算（第 7 号）
	平成 29 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市水道事業会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市一般会計補正予算（第 8 号）
	平成 29 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
	平成 29 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
	平成 29 年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
	平成 29 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）
	平成 29 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第 2 号）
	平成 29 年度小浜市水道事業会計補正予算（第 3 号）
条例	小浜市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
	小浜市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について
	小浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
	小浜市市税条例の一部改正について
	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律に基づく市税条例の特例に関する条例の一部改正について
	小浜市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
	小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
	小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	小浜市重度障がい者（児）医療費の助成に関する条例の一部改正について
	小浜市母と子の家児童発達支援センターの設置および管理に関する条例の一部改正について
	小浜市営住宅管理条例の一部改正について
	小浜市特別賃貸住宅設置および管理条例の一部改正について
	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
指定管理	小浜市営駐車場および小浜市自転車駐車場の指定管理者の指定について
意見書	原子力防災対策のさらなる充実と原子力発電所の安全・安心の確保を求める意見書 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の嵩上げ措置継続を求める意見書
その他	若狭地区介護認定審査会共同設置規約を廃止する規約の制定に関する協議について

## 賛否が分かれた議案等

全=賛成全員（可決・採択） 多=賛成多数（可決・採択） 否=賛成少数（否決・不採択）  
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥（規定により採決に加われない）  
棄=棄権（採決時に退席） ※下中雅之議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	賛成	反対	
			久恵	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦			
予算	専決処分につき承認を求めることについて（平成29年度小浜市一般会計補正予算(第5号)）	全	○	○	○	欠	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
	専決処分につき承認を求めることについて（平成29年度小浜市一般会計補正予算(第6号)）	全	○	○	○	欠	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
陳情	大飯原発3・4号機の再稼働以前に30km圏自治体と住民への納得できる説明を求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	棄		棄	×	×	×	×	棄	×	0	13	
	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	0	16	
	政府への「米の生産費を償う価格下支え制度」の創設を求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	0	16	
人事	教育委員会委員の任命について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	除	15	0

# 委員会審査

## 予算決算常任委員会 (12月補正)

### ◆道路整備事業(単独) 570万円

**説明** 大手橋・西津橋の架け替え工事に伴う迂回路および工事道路として、県が拡幅工事を行うもので、将来的に市道として用地確保を行う。そのため、用地測量を実施するための補正。

**問** 計画では歩道やガードレールの設置はどうなるのか、道路に隣接する道幅が狭小となっている交差点について、拡幅は検討していないのか。

**答** 現状の計画では、2.75メートルの2車線の道路に2.5メートルの歩道をつけた形で、県が整備をしてそれを市が引き取るという計画である。現状機能の改良が原則で、歩道は設置するが、現状設置されてい

ないガードレールについては設置する予定はない。また、隣接の交差点が狭くなっているのは把握しているが、この交差点改良には時間を要することもあり、今回の工事と併せて実施するに至っていない。大変重要な道路であることは認識しているため、今後、検討していきたい。

### ◆総務施設災害復旧事業 47万8000円

**説明** 台風21号により破損した防災行政無線のアンテナ修繕のための補正。

**問** 防災行政無線屋外子局の点検体制と、どれくらいの強風に耐えることができるかという設計風速は。

**答** 点検体制については、年1回の保守点検を実施している。設計風速については、風速60メートルまで耐えられることとなっており、今回の

台風では、それを上回る強風のため、破損したものと推測される。

**意見** 災害時に故障して、防災無線を送受信できない事態は、人命に関わることであることから、破損した箇所だけでなく他の箇所についても点検し、アンテナの設置方法も検討すべき。

### 総務民生常任委員会

#### ◆議案第91号 小浜市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

**説明** 平成30年度から中学3年生までの子どもの医療費の窓口無料化が実施されることに伴う改正。

**問** 一部負担金は上限が500円だが、県内他市の状況と一部負担金の全額助成について見解を問う。

**答** 4月1日現在、県内

8市町で一部負担金の全額助成を実施。全額助成は、安易な受診による医療費の増加の懸念がある。

#### ◆議案第98号 小浜市営駐車場および小浜市自転車駐車場の指定管理者の指定について

**説明** 株式会社まちづくり小浜を指定管理者に指定するもの。

**問** 選定委員会の委員は市民の参画が必要だが、委員会の構成は。

**答** 市の部長2名、区長連合会会長、連合婦人会会長、交通指導員会会長、交通安全母の会会長の6名である。

#### ◆陳情第10号 日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情

**内容** 日本政府が国是である非核三原則を堅持するとともに、アメリカの核の傘から脱却を決断し、核兵器禁止条約への賛同と批准の手続きを進める意見書の提出

を求めるもの。

**意見** 核廃絶という理念は理解できる。

**意見** 核保有国が参加していない実効性のない条約である。

**意見** 核の傘の脱却は、日本の安全保障環境を考えると賛成できない。

**意見** この条約に批准することは、無責任な対応である。

### 産業教育常任委員会

#### ◆議案第96号 小浜市営住宅管理条例の一部改正について

**説明** 2議案とも公営住宅法の一部改正に係る関係政省令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

**問** 別賃貸住宅設置および管理条例の一部改正について

**答** 2議案とも公営住宅法の一部改正に係る関係政省令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

#### ◆陳情第11号 政府への「米の生産費を償う価格下支え制度」の創設を求める陳情について

**内容** 「農業者戸別所得

補償制度」が平成30年度で廃止となることから、米の不足払いなどで生産費を償う米価下支え制度を確立することを求めるもの。

**意見** 小規模農家への価格下支え制度としては、必要とも思うとの意見もあつたが、意欲のある農業者や新たな後継者にとってはマイナス効果となる。国の政策である耕作放棄地を出さな

いたための農地集約や、強い農業を進める農地管理機構からの補助制度等から逆行するのではないか等の意見もあつた。

### 地域防災・原子力安全対策特別委員会

#### ◆陳情第7号 大飯原発3・4号機の再稼働以前に30km圏自治体と住民への納得できる説明を求める陳情書

**意見** 知事が地元や議会等の評価を総合的に勘案して同意を行うなど、情勢が変化した。

# 各常任委員会が視察を行いました

## 議会運営委員会

実施日 平成29年10月18日(水)～20日(金)  
視察先 愛知県岩倉市・三重県亀山市・石川県加賀市

### 愛知県岩倉市議会

平成23年5月から議会基本条例を施行、災害対応を規定している点

などで特色があり、全議員で構成する「議会改革特別委員会」で自主的な改革を進めておられます。見直しは全議員で構成する「議会基本条例推進協議会」を正式な会議として位置づけ、また傍聴規則を改正し、傍聴人の事前手続きを廃止。議会改革に議員全員で取り組む強い姿勢が感じられました。

### 三重県亀山市議会

平成22年8月から議会基本条例を施行。改革推進のため「議会改革推進会議」と「議会改革推進会議検討部会」を設置、毎年「亀山市議会・議会改革白書」を作成し公表されています。見直しは、現状分析、議論する内容、対応内容等が記

## 総務民生常任委員会

実施日 平成29年10月25日(水)～27日(金)  
視察先 茨城県龍ヶ崎市・神奈川県秦野市・埼玉県川越市

### 茨城県龍ヶ崎市

「子育て環境日本一」への取り組みについて、男性職員の育児休業取得率100%や、子育て

支援都市宣言など、先進的な取り組みについて研修を行いました。本市でも導入済みである電子母子手帳の活用は、便利なだけでなく、予防接種の間隔ミスを防げるなど、子どもの健康被害の減少にもつながり、

### 石川県加賀市議会

平成23年4月から議会基本条例を施行。開かれた議会、監視する議会、審議する議会、政策提案する議会、市民参加の議会を目指し様々な取り組みを実施。条例は平成26年に検証・評価が行われ、日曜議会や子ども議会等も開催するなど、市民が参加する開かれた議会に取り組んで

本市でも早急に普及を進める必要性を感じました。

した。

### 神奈川県秦野市

秦野市は、ハコモノや、インフラの公共施設について、早くから再配置、統合に取り組みしておられ、公共施設の更新問題についての意識も職員だけでなく、市民にもしつかり浸透しており、この事業を推進していく上では重要な観点だと実感しました。

### 埼玉県川越市

川越市では、認知症施策と家族支援について意見交換を行いました。介護中の介護マークの貸し出しや、杖や靴のかかとに貼る番号付きのステッカーの配布など、さまざまな施策や市民への周知がなされており、非常に参考になりました。

### 埼玉県川越市

策と家族支援について意見交換を行いました。介護中の介護マークの貸し出しや、杖や靴のかかとに貼る番号付きのステッカーの配布など、さまざまな施策や市民への周知がなされており、非常に参考になりました。

## 産業教育常任委員会

実施日 平成29年11月8日(水)～10日(金)  
視察先 広島県尾道市、佐賀県唐津市

### 広島県尾道市

「尾道水道が紡いだ世からの箱庭的都市」、「村上海賊」と全国的にも珍しく2つの日本遺産の認定があり、さらに小浜市と同様に北前船の寄港地として、3つ目の日本遺産追加認定を目指しています。日本遺産担当の文化振興課は

市史の編さん事業も含め3部署で職員33名体制と、かなり力を入れている印象を受けました。伝統芸能も含め多くの事業を実施し、市民の関心も高く、パンフレットは、(株)電通委託と市学芸員が作成したものを用途で使い分け、都市圏にも好評で増刷予定とのことでした。観光客だけでなく市民への周知・関心を高める取り組みも、参考になりました。

養殖は市内の養殖漁業者を中心に行っていました。大きくなったマサバは「唐津Qサバ」と命名、ブランド化して主に市内業者や飲食店、近隣市町にも拡大して提供しているとのことでした。

課題としては漁業者が半数近くに減少していること、資源を守るといふ観点から、採る漁業から育てる漁業への転換期にきていること、この周知を漁業関係者の方々に、根気強く啓蒙して行きたいとのことでした。

また、小浜市と連携協定を結んでいる「株式会社鯖や」が運営するSABARR大阪梅田三番街の、鯖街道仕様に変更された店舗を見学してき

### 佐賀県唐津市

成魚から採卵し人工孵化させ、稚魚の育成から出荷までの完全養殖を行っており、玄海原発の交付金をもとに九州大学と連携し、種苗の生産を中心に事業を進め、



石川県加賀市



茨城県龍ヶ崎市



佐賀県唐津市



# 市政を問う！一般質問

平成29年第5回（12月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	竹本 雅之	1. 池田中学校の問題について 2. 任期付職員について 3. 交通安全対策について 4. 除雪について 5. 福井国体及び大会に向けた取り組みについて	10	能登 恵子	1. 自主防災組織（防災士の活用と連携） 2. 小中学生新入学用品等に低所得者への配慮を
8	西本 清司	1. 小浜市の除雪対応について 2. 市内の河川等災害対策について	10	藤田 善平	1. 地域交通網の整備推進を問う 2. 河川環境の整備を問う 3. 農業政策を問う
9	牧岡 輝雄	1. 平成30年度の重点・重要要望事項について 2. 公共施設の総合管理について	10	佐久間 博	1. 内外海活性化計画について 2. 地下水の利活用・保全について
9	藤田 靖人	1. 安全安心のまちづくり計画について	11	小澤 長純	1. 指定管理者制度について 2. 地域包括支援センター（主に社協包括）について
9	風呂 繁昭	1. 福井県平成28年度市町普通会計決算発表 2. 日本版DMO（観光地域づくり推進法人） 3. 小浜市介護予防、在宅介護実態調査	11	熊谷 久恵	1. 異文化が連携した交流人口の拡大について



竹本 雅之  
議員

今年3月に当時2年生の男子生徒が自殺した池田中間問題をどのように捉えているか。

自らの命を絶つたことを大変重く受け止めている。本市において同じことが起こらないよう、子どもと教師、教師と家庭で十分に情報を共有し、それらの情報が管理職をはじめとした教師集団で共通理解され、管理職のリーダーシップのもとチームで対応していくことが求められる。

池田中間問題発生後の本市の対応は。

池田町調査委員会の報告書公表後すぐに、臨時の校長会・教頭会を開催。教育長が全管理職に指導監督責任を自覚させるとともに、一人一人の児童生徒理解の重要性、全教職員に

よる情報の共有と組織的な対応などについて指導した。臨時校長会・教頭会を受け、各小中学校長は全教職員を対象にした研修会を実施し、児童生徒のサインを見逃さないきめ細やかで丁寧な指導、子どもとの信頼関係づくり、情報共有の重要性等について再確認した。

教育長が目指す教育方針は。第一に児童生徒の「学びに向かう力」を高めていくことである。学びに向かう力を高める柱として、「子どもが自ら学ぼうとする授業の実現」、「人権教育・ふるさと教育・キャリア教育」のさらなる充実」で、重点施策として推進していく。

以上の取り組みを推進していくにあたっては、家庭や地域社会と目標を共有し、連携・協働しながら、その体制づくりや環境づくりに取り組んでいく。

## 池田中間問題と新教育長の教育方針を問う



西本 清司  
議員

小浜市の除雪対応について、昨年度の路線等と本年度の見直しや変更点、また過去の除雪対応における機械等の増強、予算措置や地域除雪補助の内容・範囲等について問う。

昨年度は除雪計画路線584路線262kmであった。見直しは継続要望と新たな地域の追加要望もあり11路線加えて約2km延長し、今期は595路線264kmとした。予算措置は近年の雪の多い年を参考に1.5倍の補正予算を計上した。機械もグレードアップ及び台数登録増で約1.5倍の65台とした。地域除雪補助は除雪機械燃料補助と機械に取付ける除雪板の購入費の補助があるが、近年は除雪板補助の実績

## 除雪対応と、河川等災害対策を問う

は、ない状況である。今後除雪専用装置等の検討も含めて見直しを検討したい。

市内の河川や橋梁等の災害について地域ごとの要望状況、以前からの懸案事項への対応やその具体的な対応事例、現在進行中の事業はどうか、また法整備の状況について問う。

平成16年の災害以降大きな災害が頻発に発生しており、特に平成25年の災害では堤防決壊や橋梁流出など大規模な災害となった。そのような中で、大きな河川のみならず集落内の小規模の河川改修や砂防堰堤等の要望が多く寄せられている。北川などにおいては支流と合流する箇所の霞堤とその周辺の遊水池が度重なる豪雨にて被害が頻発しているが、河道浚渫事業や、輪中堤等の建設事業に着手する準備を進めており順次整備計画に基づき実施予定となっている。



# 一般質問



牧岡 輝雄  
議員

北陸新幹線早期開業に向けたスケジュールについて伺う。

今年6月から航空撮影やレーザー測量による航空図化及び地表踏査を実施、現在地層の状況を把握する弾性波探査及び資料採取のボーリング調査を実施中で、来年1月までに終了予定。来年度末までに更に詳細な地図の作成を行い駅・ルート上の位置を概ね3km幅に絞り込み公表の予定。

## 平成30年度重点・重要要望

のため路盤強化等をJR西日本、県、国に要望を行っている。また、ICカードサービスの導入、小浜駅ホームのエレベーター設置、座席数の多い車両への更新等を要望している。

台風21号による水産関係の被害と救済は。



阿納 フグが多数死滅

定置網の全損及び一部損壊が8経営体あり、養殖生簀が約50基損壊する等、かつてない被害を受けた。12月4日には市長が福井県に対し、円滑な運転資金の確保や損壊した定置網や生簀の修繕、養殖業を継続するための種苗購入の支援を求めた。1日でも早く復興できるように努める。



藤田 靖人  
議員

高齢化社会を迎える市営住宅に生まれる方々に高い階層ではなく利便性の良い空き家に住み替えるなど、空き家の利活用は考えられないか。

民間事業者と協力体制をとり市営住宅から民間住宅に住み替える事により、公共施設を減らし行政コストの縮減が図れ、民間事業者の活性にもつながるのではと考える。

市営住宅は公営住宅法に定められる低所得者のための賃貸住宅であり、全ての廃止は困難と考えられるが、適正な施設数とすることは重要である。住宅の確保に配慮を要する者に対し、賃貸住宅の供給を促進する制度等もある為、市としても研究していきたい。

## 空家の利活用と将来の都市計画について

現在、人口推移による市営住宅需要の比較検討を開始したところであり、小浜市公営住宅等長寿命化計画では、ライフサイクルコストにより「建替え」か「修繕」を判定しており、コスト縮減に務めている。

今後いるいるな施設が老朽化していくなかで、今後の都市計画はどのように考えているのか伺う。

将来を見据えた都市計画では、公共サービスの質は維持したうえで、公共施設等の削減と適正な維持管理を行っていくことが重要であり、様々な手法で取り組む必要がある。

現在策定中の立地適正化計画を運用していくなかで、居住誘導区域の人口密度を維持することにより、既存の施設や地域資源を有効活用し、新たなインフラ施設への投資を抑制していく。



風呂 繁昭  
議員

人口減少時代を迎え、今後「選択と集中」は避けられない。決算等を踏まえ来年度の予算編成の対応を問う。

「地方創生と活力ある小浜の創造」を推進するため事業効果等を検証し、事業の再構築を行っていく。

福井しあわせ元気国体の開催にあわせ「充実した教育環境づくり」など、必要施策を実施する。政策的経費、経常経費について、5%のマイナスシーリングを設定し重要課題を推進する。歳入の確保と歳出の削減、持続可能な健全財政の確立に努める。

日本版DMO（観光地域づくり推進法人）に登録された事によるメリットは何か。また、インバウンド（訪日外国人客）

## 今後「集中と選択」は避けられない

対応の現状と今後の取り組みは。国の交付金等の採択をはじめ重点的に優先支援をいただけるものと期待している。平成27年度をインバウンド元年と位置づけ、観光案内看板やホームページ、パンフレットの多言語化、公共施設におけるWiFi整備、補助制度の創設、モニターツアー等々取り組みを展開している。

小浜市の介護予防、在宅介護の実態調査について、調査の結果を踏まえ、第7期介護保険事業計画は、どのように取り組むのか。

デイサービスやショートステイの需要が高く、家族介護者の負担軽減が求められる事から事業者の受け入れ定員の増加を検討している。また訪問介護といった在宅での医療サービスの充実と地域における「集いの場」づくりが必要である。



能登 恵子  
議員

「小中学生新入学用品など低所得者への配慮を」として、無償の義務教育といえど、日本の教育にかかる費用は親の負担がとて重い。その中で、負担が少しでも軽くなるよう求める。

収入によるが、教育にかかる費用の一部を援助している就学支援制度がある。(新入学用品費、学用品費、通学用品費、校外活動費、就学旅行費など)

◎新入学用品費は、今年度は学校説明会には援助できるように努力する。来年度からは、保護者が準備しやすいようにも少し早めに援助できるようにする。

◎制服などに関しては、少しでも手ごろな製品を選べるよう、市内の取扱業者の紹

## 負担の重い教育費、相談してみませんか

介と、自由に選択できるようにする。

◎副教材費も、新学年の負担を考慮する。

「自主防災組織と防災士の活用と連携」大災害や局地的な激しい雨が、今後2.5倍増加する気象庁の長期予想も出ており、防災に関しての予防啓発活動や地域力は、ますます重要な役目となる。熊本地震の報告を聞くと、激甚災害に対し市の職員だけでは機能マヒになる。そこで自助力を高めるために、防災士をもっと養成し活用することを提案。

◎防災士は、自助、共助、公助、協働を原則とし社会の様々な場で防災力を高める活動が期待できる。豪雨や地震など大規模な災害が頻発し、救助の手が及ばない可能性もある中、地域における主体的な取り組みが期待されるので、防災士をはじめ各団体との連携を進めていきたい。



藤田 善平  
議員

琵琶湖若狭湾快速鉄道の代替機能として、関西経済への観光や物流のための小浜から滋賀県湖西道路までの改良について聞く。

◎現在、滋賀県側では平成20年度からトンネル工事や拡幅工事を実施しておりトンネルを含む2.1キロメートルが供用されておられ、残り2.0キロメートルを現在整備中である。国道303号の整備促進を優先し、早期完成に全力を挙げていた。

◎舞鶴若狭自動車道の4車線化の現況を問う。

◎舞若道は約6割が暫定2車線区間であり、福知山インターから舞鶴西インター間の約15キロメートルで4車線化事業が進められており、平成32年度に供用予定

## 台風等による被害頻発地域への対応を！

である。

◎北川の河川整備計画を問う。

◎平成24年10月に策定された計画に基づき、河道掘削は北川河口から遠敷川合流地点までの約4.3キロメートルで、約13万立方メートルを実施する予定である。

◎台風等による被害地域(江古川・込田川・遠敷川・松永川・南川等)の対応策を問う。

◎福井県において緊急性の高い箇所から順次対応していただいている。

◎平成30年度から国主導による減反政策が廃止され、コメの直接支払交付金も廃止されることで農家にとっては大きな痛手となるが、小浜市の対応を聞く。

◎地域で話し合いを進めてきた結果農地の集積・集約化が進んでおり、今後も農家が将来を見据えて農業に取り組めるよう、県や関係機関と連携対応していく。



佐久間 博  
議員

「内外海地区活性化計画」とは。

◎「儲かる漁業・教育旅行の聖地・新規顧客開拓・安心快適の民宿」の4つの方針で、計画策定している。

◎田鳥小学校での養殖振興策は。

◎出荷サイズ魚を新鮮度冷凍処理することでコスト低減と安定供給を目指す。

◎加工品の研究は。

◎へしこ等を共同加工場で生産拡大や新商品の開発を進めた。

◎教育旅行の方針は。

◎内外海地区全体へ受け入れ先を拡充する。

◎来訪者増加で事故、防犯対策の必要性は。

◎防犯カメラの設置を検討課題とする。

◎市長の内外海への思いは。

◎次世代へつなげる

## 小浜の資源を活かしてまちづくり推進を

未来漁業、滞在型観光を内外海地区で実現する。

◎「小浜市地下水利用・保全検討委員会」のスケジューリングは。

◎委員会で地下水は市民共有の財産と位置づけ来年度に利活用策、保全策を提言する。

◎小浜平野地下水調査結果は。

◎地下水収支バランスも悪くなく、複数の帯水層が自噴の影響だ。

◎消雪装置の影響は。

◎2月の大雪時に地下水水位が低下したが、水質変化はなかった。

◎先進地視察後は。

◎委員会で現地視察し、その他先進地事例を参考に検討中。

◎名水保護、活用について具体策は。

◎「雲城水・津島名水」等についても施策案をまとめ提言する。

◎市長の考えは。

◎地下水は若狭湾内の魚等の栄養源である。この資源を有効にまちづくりに活かしたい。



# 一般質問



小澤 長純  
議員

指定管理者制度において、一社入札が多いが、事業者に十分な情報が提供されていないのではないか、周知方法は、

広報おぼまや市公式ホームページ、チャンネル等により広報を行い、施設所管課での資料配布を行っている。

要望・苦情は、市に言ったらいいのか、指定管理者に言ったらいいのか。また、各施設に見解を配置してほしいが。

市・指定管理者ともに、ていねいに対応している。意見箱は5カ所に設置しているが、他の施設においても設置していきたい。

利用料金はどこが決めるのか。また、近隣市町との比較は、条例・規則で定め

## 地域包括支援センターが充実しました！

た範囲内で、市長の承諾を得て、指定管理者が決める。近隣市町と比較すると、おおむね同等である。

地域包括支援センターが2カ所に増設されたが、問題点等は発生していないか。

特に混乱することなく、順調にスタートしている。

担当地区として、12地区を2つに分けているが、選別方法は、

市内2つの中学校区をベースに、高齢者人口のバランス、地理的な交通利便性等を考慮して選別している。

土日祝日のセンター開所を希望する市民の声があるが。

現在、土日祝日は開所していないが、24時間365日、対応できる体制をとっている。開所については、必要性が高まった時点で検討していきたい。



熊谷 久恵  
議員

インバウンドを視野に入れた、人間ドックに特化したメディカルツーリズムの可能性は、

コンテンツとしては面白い取り組み。医療機関や地域の消費を高め、健康・長寿のブランドイメージをもとに親切丁寧なサービス提供、国際標準の医療サービスに向けた質の向上など効果が期待できる。しかし多くの課題もあり、今後関係機関と検討していく。

教育旅行を含めた広域の体験をコーディネートする人材育成は、

総括できる人材の必要性を感じている。地元体験学習の効果は、自然体験・生活体験は生きる力を育むうえで重要。地域社会で行うことで誇りや愛着を生む意味あ

## 異分野連携が地域を磨き交流人口拡大へ

効果をパンフレットで共有し発信して

多くの学びを様々な手段で発信できるように努める。

様々な分野の連携は、素材を磨き、将来交流人口の拡大やUターンにつながることを考えるが、市の考えを伺う。

教育旅行について地元教育者の視点を取り入れブラッシュアップすることで、外への説得力が増し、地元の新たな気づきと二重の効果が期待できる。あらゆる分野の人材によるコラボレーションは極めて重要なこと。

日本版DMOに昇格した「おぼま観光局」は、こうした観光地経営を担うに値する専門性を持った組織との連携が、今後の観光まちづくりに極めて重要になると認識しており、自然的に交流人口拡大、U・Iターン等につながっていくと考え

## 議会を傍聴しませんか

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

### 一次回定例会の日程

- 2月22日 (木) 本会議
- 2月23日 (金) 本会議
- 3月14日 (水) 一般質問
- 3月15日 (木) 一般質問
- 3月23日 (金) 本会議

## 今月の表紙

今富恒例の地区民手作りのペットボトルツリー。約1万本のペットボトルを使用し、6メートルのツリー2基や、しあわせのトンネルに国体応援パネル、ハートも加わり、今年もバージョンアップして輝いています！

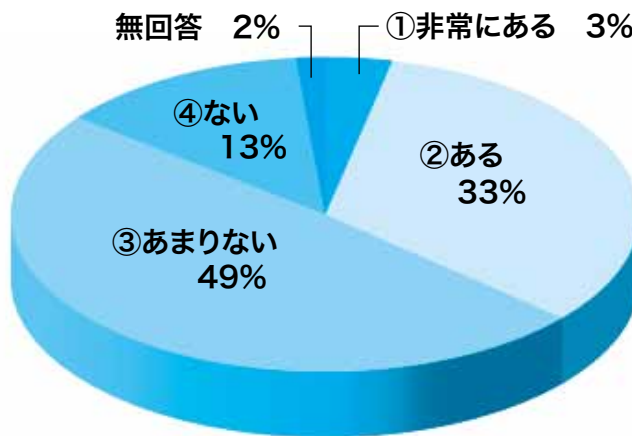
今富公民館で午後5時から午後10時まで点灯しています。期間は1月末までですのでぜひ一度ご覧ください。

# 平成 29 年度 小浜市議会に関するアンケート集計結果

議会改革を進めていくうえでの基礎資料として、議会に対する市民の皆さまの意識、関心、評価などを把握することを目的に、平成29年8月1日現在、住民基本台帳に登録のある市内在住の18歳以上の方を対象に、1,000人を無作為抽出し、8月にアンケートを実施しました。そのうち409人から回答をいただきました。回答率は40.9%でした。その結果の概要をお知らせいたします。

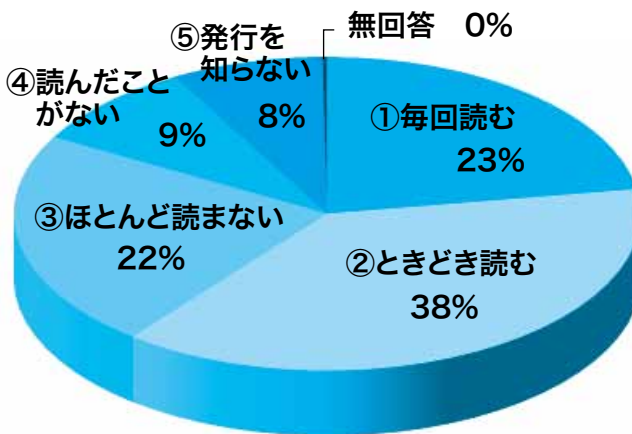
※集計の割合については、小数点以下を四捨五入しております。

■市議会に関心がありますか。



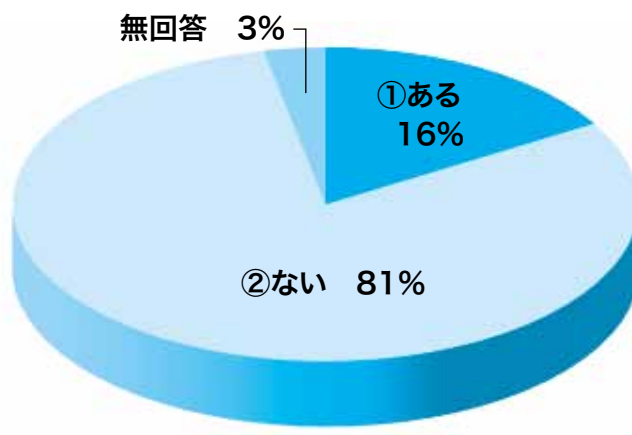
「ない」、「あまりない」と回答した方が62%で、「非常にある」、「ある」と回答した方の36%を大きく上回りました。市議会に対して関心が薄いことが分かりました。特に若者と女性の関心のなさが顕著に表れる結果でした。

■市議会だよりの発行を年間4回発行しておりますか。読んだことがありますか。



市議会だよりの発行認知度は92%ありましたが、「読んだことがない」9%、「ほとんど読まない」22%で、20〜30歳代に多いという結果でした。

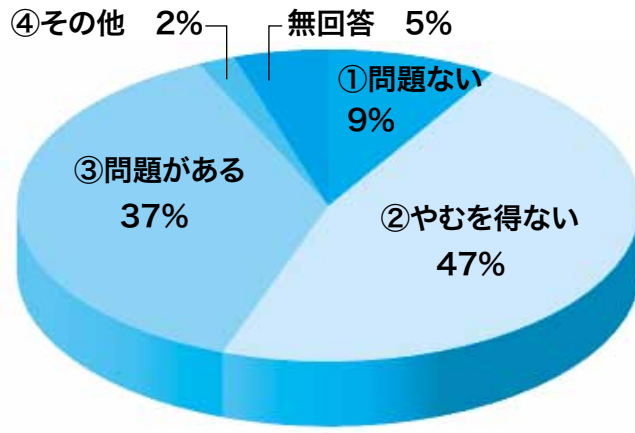
■議会報告会に参加したことがありますか。



「ない」と回答した方が81%で、ほとんどの方が参加したことがないという結果でした。「ある」と回答した方は約9割が男性で、女性の参加が少ないという結果でした。

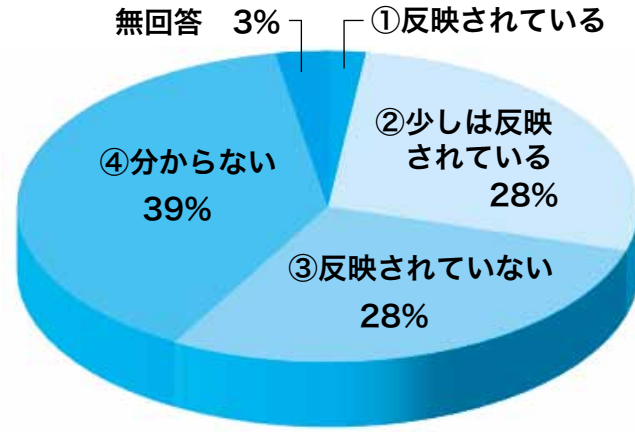


■平成27年春の小浜市議会議員選挙が無投票になったことについてどう思われますか。



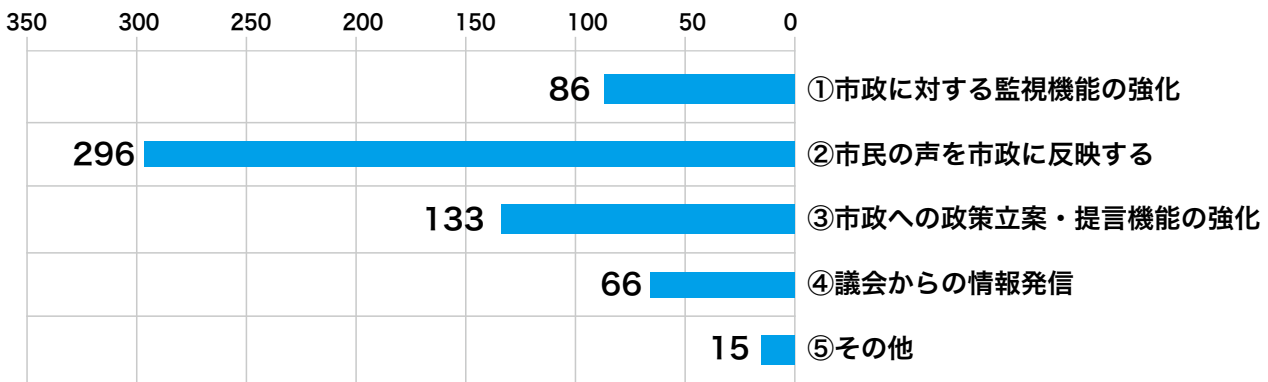
「やむを得ない」と回答した方が47%と一番多く、次いで「問題がある」と回答した方が37%でありました。「問題がある」と回答した方は60歳代に多いという結果でした。

■あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思われませんか。



「分からない」と回答した方が39%と一番多く、「反映されていない」28%、「反映されている」少しは反映されている30%でありました。「反映されていない」と回答した方は女性に多いという結果でした。

■あなたは市議会に何を期待されますか。(複数回答可)

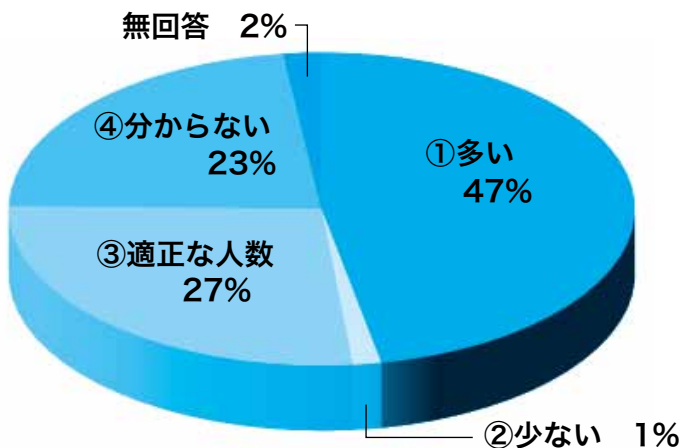


その他の意見

- ・しっかり計画して皆で動く市政にしてください。
- ・農村地域の過疎化対策。
- ・今のところ特に何も期待していない。
- ・市民の意見を聞いて、確実に実行してほしい。
- ・県に対して強く要望し、予算を上げてもらう。
- ・市自体が活気が無い。
- ・地域の課題の掘り起こしと課題解決力。
- ・予算と決算の査定と、費用対効果の実施と対策。
- ・政策の経過、結果の報告等。
- ・本当の事を言える議員を。知っていても言わないことのない様願います。
- ・大阪などへ行来する新幹線の早い着工、大手橋の復旧。

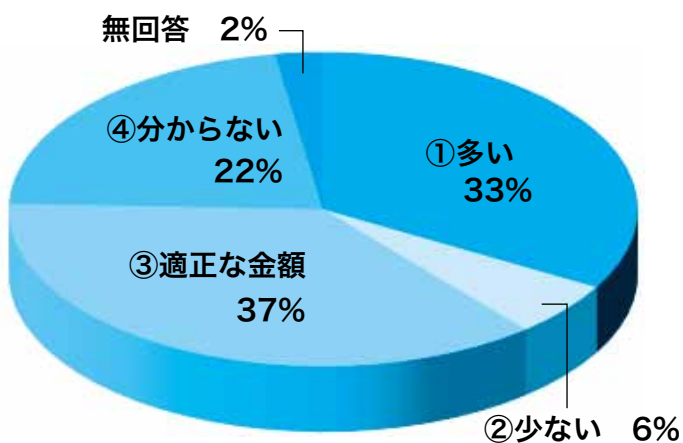
「市民の声を市政に反映する」が296人で大多数を占めました。次いで「市政への政策立案・提言機能の強化」133人、「市政に対する監視機能の強化」86人でありました。

■小浜市の議員定数は18人です。この人数についてどう思われますか。



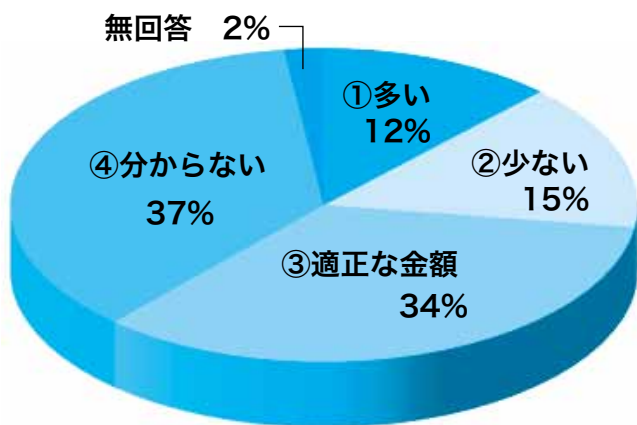
「多い」と回答した方が47%と一番多く、次いで「適正な人数」27%。「分からない」23%でありました。「多い」と回答した方は60歳代に多くみられました。「適正な人数」と回答した方は70歳代以上の男性に多いという結果でした。

■小浜市の議員報酬は月額35万円です。この金額についてどう思われますか。



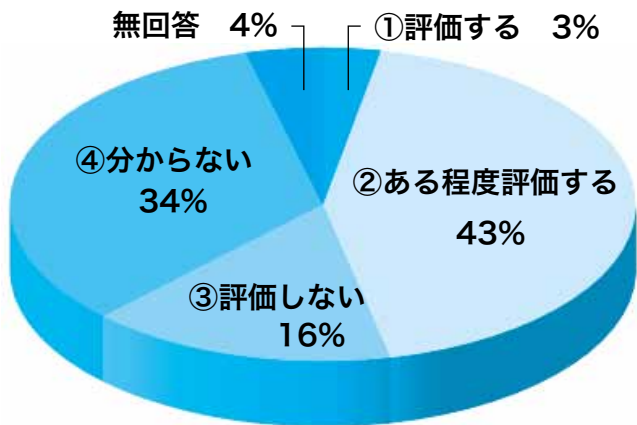
35万円が「適正な金額」と回答した方が37%で一番多く、次いで「多い」が33%。「適正な金額」だと回答した方は、50〜70歳代の男性に多いという結果でした。

■小浜市の政務活動費は月額2万円です。この金額についてどう思われますか。



「分からない」と回答した方が37%で一番多く、次いで「適正な金額」34%。また、「少ない」と回答した方が15%おられました。50歳代の男性に多くみられました。

■市議会の活動をどのように思われますか。



「ある程度評価する」と回答した方が43%で、男性の60歳代以上の方に多く、次いで「分からない」と回答した方が34%。「評価しない」と回答した方は16%で、60歳代に多いという結果でした。

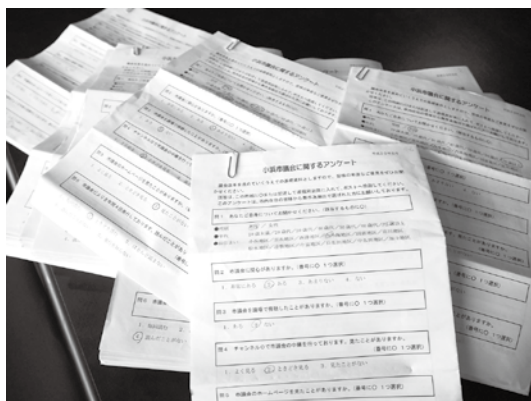


## ■自由記述の概要

自由記載欄に幅広い年代の方から、133件のご意見・ご要望などをいただきました。

その内容については、市議会や議員に対し、「どのような仕事をしているかわからない」や「議員報酬にみあった仕事をすべき」、「市民の声をもっと聞き、小浜市のために働いてほしい」などの厳しいご指摘がありました。また、「報酬が少なすぎるため、議員になるうとする人が少ない」や「議員定数を削減することにより、議員一人当たりの活動が増えるのならば報酬を増やしても良い」、「政務活動費を積極的に活用し活躍してほしい」などというご意見や、「市議会からもっと情報発信をしてほしい」、「意見箱を

設置してほしい」などのご要望もありました。



市議会にいただいた、たくさんのご意見・ご要望

## 【まとめ】

今回のアンケート調査により、市民の皆さまが「市議会をどのように感じておられるのか」「市議会に何を求めているのか」「を把握することができました。

## 「市議会への関心について」

は、関心がある方の約4割に

比べ、関心がありませんの方は約6割と多いことから、特に若者と女性を対象に、議会の仕組みや役割を理解してもらうための取組みが必要不可欠です。

## 「市議会に対する期待について」

は、大多数の方が市民の声を市政に反映することを期待していますが、約3割の方しか反映されていると回答しておらず、市民の期待に十分応えられていないことを痛感しました。

## 「情報発信について」

は、「市議会だより」では、約2割の方が毎回読む、約4割の方がときどき読むと回答しており、市民にとって重要な情報源であることから、更に充実を図る必要があります。一方で、「ホームページの閲覧」や「議

会報告会の参加状況」はいずれも約2割と低く、今後検討が必要であると考えます。

このたびのアンケート調査にご理解とご協力をいただき、貴重なご意見をお寄せいただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。市民の皆さまからいただいたご意見等を真摯に受け止め、今後の議会改革の参考とさせていただきます。なお今回掲載できなかった調査項目の集計結果については、小浜市議会ホームページに掲載しております。また自由記載欄への記述の一覧などは、議会事務局の窓口でご覧いただけます。



# 議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

## 10月

日	曜	行事内容	出席者
2	月	福井県市町議会議員合同研修会	全議員
3	火	本会議ほか各委員会	全議員
5	木	小浜市表彰選考委員会	議長
6	金	本会議ほか各委員会	全議員
9	月	拉致・特定失踪者問題の早期解決を願う福井県集会	全議員
11	水	地域防災・原子力安全対策特別委員会管外視察	議長・関係議員
12	木	行政視察受入(石川県津幡町議会)	副議長・関係議員
//	//	北陸新幹線早期全線開業特別委員会管外視察	議長・関係議員
14	土	姉妹都市訪問(埼玉県川越市)～15日	副議長・関係議員
16	月	広報委員会	関係議員
18	水	議会運営委員会視察～20日	正副議長・関係議員
24	火	小浜市戦没者追悼式	全議員
//	//	公立小浜病院組合議会	関係議員
25	水	総務民生常任委員会視察～27日	関係議員
26	木	嶺南市町議長会県要望活動	議長
28	土	㈱ケーブルテレビ若狭小浜開局20周年記念式典	全議員
30	月	北信越市議会議長会総会に代わる評議員会	議長
//	//	行政視察受入(滋賀県栗東市議会)	副議長・関係議員
31	火	全国市議会議長会建設運輸委員会要望活動	議長
//	//	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議	副議長

## 11月

日	曜	行事内容	出席者
1	水	全国広域連携市議会協議会理事会	議長
2	木	議会運営委員会	関係議員
//	//	北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
//	//	若狭消防組合議会	関係議員
3	金	小浜市表彰式	全議員
6	月	福井県市議会議長会議員研修会	全議員
8	水	定例全員協議会	全議員
//	//	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会要望活動	副議長
//	//	産業教育常任委員会視察～10日	関係議員
12	日	文化祭秋季書道展表彰式	議長
//	//	『小浜市総合文化祭短歌大会』賞状授与	議長
13	月	福井県市議会議長会 中央要望活動	正副議長
20	月	議会運営委員会	正副議長・関係議員
21	火	全員協議会	全議員
22	水	中部管区広域緊急救助隊合同訓練	議長
//	//	商工優良従業員表彰式	議長
23	木	北陸新幹線シンポジウム	全議員
24	金	嶺南市町議長会県議長要望活動	議長
26	日	小浜市社会福祉協議会創立50周年記念福祉大会	議長・関係議員
27	月	公立小浜病院組合議会	関係議員

日	曜	行事内容	出席者
29	水	㈱ケーブルテレビ若狭小浜役員会	議長
30	木	本会議ほか各委員会	全議員
//	//	防犯隊年末警戒出動式	議長

## 12月

日	曜	行事内容	出席者
1	金	拉致問題啓発舞台劇公演	全議員
2	土	小浜男女共同参画のつどい	副議長
4	月	総務民生常任委員会	関係議員
5	火	産業教育常任委員会	関係議員
//	//	小浜ひまわり基金法律事務所引継式	副議長
9	土	杉田玄白賞表彰式・記念講演会	全議員
11	月	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
14	木	本会議(一般質問)ほか各委員会	全議員
15	金	本会議(一般質問)ほか各委員会	全議員
18	月	予算決算常任委員会ほか各委員会	全議員
20	水	㈱まちづくり小浜臨時株主総会・取締役会	議長
21	木	本会議ほか各委員会	全議員
22	金	若狭消防組合議会	関係議員
24	日	障がい者問題を共に考えよう小浜フォーラム	議長・関係議員
25	月	全国市議会議長会建設運輸委員会等要望活動	議長
//	//	公立小浜病院組合議会	関係議員

### 編集後記

新年明けましておめでとございませう。  
清らかな海、山、川によって育まれた「ふるさと」若狭小浜。ここで生を受けた人々が、小浜に生まれて良かったと思ってもらえる役割を担うのが、私達議員の責務でもあります。  
「市民のためになるのは何か」を常に考え、その活動内容等を「議会だより」を通じて詳細に市民の皆様にお伝えしていきます。  
今年が市民の皆様にとって素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。(広報委員 池尾 正彦)

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか??

### 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だより表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

#### 【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
  2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

#### 【応募方法】

- ・ 応募は、データの持参またはメールでお願いします。  
メールアドレス: [gikai@city.obama.fukui.jp](mailto:gikai@city.obama.fukui.jp)
- ・ 作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

#### 【その他】

- ・ 撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・ 提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・ 応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。